

「令和2年度白河市外国人住民アンケート調査」 報告書(概要)

白河市における外国籍住民に係る生活実態等とニーズを把握し、今後の外国籍住民に対する施策検討の基礎資料とする。

記

I 調査概要

- 1 調査対象 白河市内に居住し、住民基本台帳に記載されている19歳以上の外国籍住民(年齢基準日:令和2年4月1日)
- 2 調査期間 令和3年1月～2月
- 3 調査方法 郵送調査
- 4 配布数 623件
- 5 回収数 164件(回収率26.3%)

II 調査結果

1 属性

○回答者の国籍(P.4)

「中国」26.2%が最も多く、「フィリピン」25.0%、「ベトナム」21.4%と東南アジア地域が多くなっている。

○回答者の在留資格(P.5)

「永住者」が37.2%と最も多く、続いて「技能実習」22.6%、「日本人の配偶者等」16.5%が多くなっている。

2 行政への要望(P.8～9)

「強く望む」「少し望む」を合わせると「外国語で医療(病院・薬局)を利用できるようにする」が76.2%と最も多く、続いて「外国人が日本語を勉強する機会を増やす」75%となっている。

3 生活

○日常生活で困っていること(P.12)

「言葉が通じない」40.9%が最も多く、続いて「物価が高い」34.8%となっている。

○日常生活で必要としている情報(P.13)

「災害時の緊急情報」34.8%が最も多い。

○日常生活に関する情報の入手先(P.14)

「家族・親戚」52.4%、「母国出身の友人」43.3%など身近な人からが多い。また、「インターネット(携帯)」(44.5%)の利用者も多い。

4 日本語

○日本語能力について(P.16)

「不自由なくできる」「だいたいできる」の回答数をあわせると「話す」70.8%、「聞く」75%が「できる」となっている一方、「読む」42.6%、「書く」36%となっている。

5 医療・保険

○病院について困っていること(P.19)

「特にない」37.8%が最も多く、続いて「言葉の通じる病院や薬局がない」25%となっている。

6 防災

○災害情報の入手先について(P.21)

「日本語 TV・ラジオ・ネット」が 61.6%と最も多い。

○市にしてほしい災害対策(P.22)

「災害対応に関する情報を多言語で提供する」が 54.9%と最も多い。

7 交通

○交通手段で困っていること(P.23)

「特にない」42.7%が最も多く、続いて「利用方法が分からない」19.5%、「外国語の案内表示がない」18.9%となっている。

8 仕事

○仕事で困っていること(P.26)

「給料が安い」35.4%が最も多く、続いて「困っていない」23.8%が多くなっている。

9 育児

○育児・教育で困っていること(P.28)

「お知らせや書類が日本語なのでわかりにくい」48.1%が最も多く、次いで「困っていない」31.5%が多くなっている。